



7月号

令和6年7月1日

# 神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童268名16学級



## 心をそろえる

校長 篠崎 弘敬

保護者の皆様6月末には、授業参観・懇談会のご出席ありがとうございました。先月の学校だよりにも掲載させていただきましたが、授業参観や学校公開以外でも連絡いただければ授業参観可能です。お時間ある時にご来校いただき子供たちの様子を見ていただければ幸いです。

さて、6月4日(火)～5日(水)に5年生と一緒に大貫海浜学園に行って参りました。大貫海浜学園の宿泊は、食事の準備や宿泊する準備等を自分たちでしなければなりません。友達と協力して布団を敷いたり2人組でシーツをたたんだりトイレではサンダルにはきかえたり学校生活では経験できないことを体験します。シーツのたたみ方が正しくないやり直しをします。初めての宿泊行事で心配された保護者の方もいたかと思えます。しかし、あらゆる場面で5年生が適応している姿を見ることができました。「生活力があるなあ」と感心しました。「かわいい子には旅をさせろ」とはいいですが、快適な家族旅行とは違った2日間の宿泊行事を通して子供たちは成長したと思います。

大貫海浜学園には以下の詩がトイレに掲示してありました。

### はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろろう  
心がそろろうと はきものもそろろう  
ぬぐとぎにそろえておくと  
はくとぎに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の人の心もそろうでしょう

藤本幸邦書

みなさんはこの詩を読んでどのような感想を持たれたのでしょうか。この詩の中で何か感じる事があれば、家庭で話題にさせていただきければ幸いです。人それぞれ感じる場所は違うと思います。

私は、「だまってそろえておいてあげよう」が心に残りました。「だまって」が入ることにより崇高な人間関係が醸成されるように思うからです。

神根小学校の子供たちは、皆、素直な心をもっています。教えたことは素直に受け入れ自分の行動を改善し自分自身を良くしていこうとする子供が多いです。人の気持ちを考え行動することや人のために行動することの大切さ等を教え、立派に成長して欲しいと願っています。早いもので1学期も後残り約3週間です。しっかり学習内容が身に付くよう丁寧に指導を行って参ります。保護者の皆様には本校の教育活動につきましてご理解ご協力をいただきましてありがとうございました。夏休み期間中交通事故や水の事故に気を付けていただき充実した夏休みをお過ごしください。2学期元気な姿の子供たちに会うことを楽しみにしています。